

昨年度評価(R4年度)

【主たる中施策事業】評価と現状認識

※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R4年度決算①	5_R5年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
2	社会福祉推進事業	・市制50周年記念ポッチャ大会開催事業	B	1,357	113	-1,244	地域福祉計画の重点施策の一つである「あいさつ運動」は、市内小中学校で実施されている「さわやかDAY」との連携に加え、社会福祉協議会主導による各地域住民からなるあいさつ運動推進隊とも連携し「ハローワーク活動」を実施した。地域福祉計画の推進及び次期計画の策定にあたり、自殺対策・再犯防止を含めて現状の課題や実際の取組の効果を検証していくことが重要であると認識している。	地域福祉課
16	重層的支援体制整備事業	・重層的支援体制整備事業	B	8,984	8,800	-184	関係機関や関係部署との連携によりあらゆる視点から相談支援ができ、解決したケースもあった。しかしながら、解決までに相当な期間を要することが多いことから、早期に把握し、複雑化する前に速やかに問題を解消することが重要である。包括的な相談支援事業の周知啓発を市民団体や相談支援機関の研修会にて実施し、地域におけるつながりづくりの必要性の理解促進を今後も引き続き実施し、地域住民の孤立を防ぐことが重要であると認識している。	地域福祉課
15	障がい福祉サービス事業		B	1,346,357	1,402,075	55,718	市内2箇所グループホームが整備されたことにより、障がい者の自立生活に向けて前進したが、多様化・増大化する障がい福祉サービスの需要に対応するため、引き続き障がい福祉サービスの利用実態やニーズの把握に努めていく必要がある。	地域福祉課
15	障がい者相談支援事業		B	22,165	22,185	20	短期間での解決が難しい困難事例が増える状況の中、重層的支援会議へつなぎ適切な対応ができた。今後、相談件数の増加や困難事例の状況に応じて、関係機関と連携した相談支援体制やサービスの充足を図る必要がある。	地域福祉課
2	障がい福祉推進事業		A	215	3,310	3,095	第3次障がい者福祉計画の進捗を確認し、概ね計画通り進んでいることを確認した。また、市制50周年ポッチャ大会の開催により、障がい者と多世代との交流を促し、障がい者に対する理解が深まった。関係者と協議し、継続して実施していくことが重要であると認識している。	地域福祉課
16	生活困窮者等扶助事業	・包括的就労推進事業 ・危機管理監視員配置事業	B	104,478	52,891	-51,587	緊急生活支援事業を実施し、毎回の物資配達に合わせて各課からの情報提供や相談先の周知を行い、対象者に応じた適切な支援を行うことができた。また、就労につながるケースが増えたことは、包括的就労推進事業の成果と考えている。	地域福祉課
12	一般介護予防事業		B	40,141	47,706	7,565	屋外で手軽に行えるウォーキングの推進や運動教室の集団人数を減らすため、教室を2部に分けるなど新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら「まちかど運動教室」などの介護予防に資する事業を実施できた。	長寿課
12	認知症総合推進事業		B	19,731	20,257	526	認知症サポーター養成累計1万人を達成し、市民の認知症に対する普及啓発を進めることができた。認知症高齢者の増加も見込まれるため、今後も継続して取り組む必要がある。	長寿課
16	生活支援体制整備事業		B	15,814	16,370	556	おたがいさまセンター事務局がカラット内に移転したことから、カラットでのイベントに参加し、活動の周知を図った。利用者、登録者数とも増加を続けており、ゴミ出しや草刈りなど介護保険サービスでは対応できないちょっとした困りごとに対応することができた。	長寿課
2	成人検(健)診事業		B	138,418	155,788	17,370	胃がん健診における精密検査受診率は、未受診者への受診勧奨、受診状況の確認や医療機関との連携により令和3年度よりも大幅に向上した。土曜日の実施、特定健診や協会けんぽとの合同実施など受診しやすい工夫を行っていることにより向上が図れた。	健康推進課
11	健康づくり事業		B	545	1,872	1,327	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら健診、講座等を実施し、参加者も戻りつつある。また、健康マイレージシートを学校を通じて配布したことで、まいかシートの交換枚数が増えるなど効果が見られたので、引き続き普及啓発に努めたい。	健康推進課
90	新型コロナワクチン接種事業		-	-	-	-	国の方針に基づき、医療機関との調整を行いながら、計画的に接種事業を進めることができた。5類移行後も、国の指針に基づき、適切に対応していくこととしている。	新型コロナワクチン接種推進室
28	保育所等整備事業	・私立保育所整備補助事業 ・特定教育・保育施設等整備補助事業 ・公立保育所園舎解体事業 ・公立保育所整備事業	B	104,342	199,986	95,644	老朽化する公立園を廃止し、新たに私立保育園を誘致する中で、待機児童の解消を図るため利用定員を拡大することができた。また、公立保育園の老朽化対策として、保育室や外壁などの大規模改修工事を実施したが、今後も計画的に実施していく必要がある。	こども保育課
	保育所等運営事業	・地域型保育事業運営補助事業 ・医療的ケア児保育支援事業	C	1,906,253	2,000,975	94,722	国基準の待機児童は解消されたが、潜在的待機児童数が改善されていないことから、特に、今後想定される南部地区における潜在的な待機児童の解消に向けて、老朽化する公立施設の在り方を検討するとともに保育需要の動向を把握していく必要がある。	
90	国民健康保険事業		-	6,127,640	6,161,514	33,874	まちかど運動教室等で体成分分析器を導入したことで、筋肉量が不足している部位なども理解でき、この結果を入りに地域サロン等で健康相談を受け、介護予防事業につなげ、運動の定着化を図ることができた。	保険医療課
	後期高齢者医療事業		-	936,435	1,248,500	312,065		

## 昨年度評価(R4年度)

## 【主たる中施策事業】評価と現状認識

30	児童発達支援センター	・どんぐり学園解体事業 ・どんぐり学園用地測量等委託事業	A	88,512	154,184	65,672	開設初年度であったが、受託事業者と課題共有し、適切な運営ができたと認識している。保護者等からの事業所評価も高いことから、引き続き利用者等の要望を聞きながら創意工夫して安心して利用できる施設としていく。	子育て支援課
17	児童館管理運営事業	・南部児童館トイレ整備事業 ・児童館	A	125,534	138,936	13,402	令和4年度は全館指定管理として3年目の年であり、コロナ禍での運営であったが、利用者の安全を図りながら、適切に運営できたと認識している。利用者アンケートの満足度も100%を維持できているが、今後も利用者の声を参考に指定管理者と連携しながら、子供や保護者の安心できる場所としていきたい。	子育て支援課
28	妊娠出産子育てワンストップ事業	・産婦健診事業 ・多胎妊婦健康診査事業	A	155,234	189,620	34,386	妊娠期から切れ目のない支援を実施するため、母子手帳交付時に保健師が面接し必要な支援につなげることができた。また、産後ケアや養育支援訪問の利用期間延長や宿泊型産後ケア施設に大学病院を加えることにより、更なる支援の充実と連携調整を図り適切な支援介入の体制を整えることができた。 子育てアプリは講座やイベント情報を掲載し、一部アプリでも参加登録できるようにしたことにより利用者の増加及び利便性の向上を図った。	子育て支援課
1	児童虐待・DV対策事業		A	4,474	6,580	2,106	家庭の問題が深刻化、複合化していることと同時に、見守りが必要な家庭数も増加傾向にあるが、多様な専門機関と連携し、解決策を提案することができたと認識している。今後も相談件数の増加が見込まれるため、相談体制の充実が必要である。	子育て支援課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「3\_総合評価」から「6\_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。